

「人と住まいを、笑顔でつなぐ。」

令和6年年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは元日に発生しました、石川県能登を震源とする「令和6年能登半島地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

*

昨年は、WBC（ワールドベースボールクラシック）にて大谷擁する侍ジャパンが米国との対決を制し優勝し、日本列島を沸かせたことは記憶に新しいものがあります。

一方、ウクライナ紛争に加え、イスラエルでも戦闘が起き、世界情勢は今年の米国大統領選挙を見据え、先行き不透明であります。

国内では物価高、少子高齢化、空き家問題が進行し、未だ解決の糸口が見えない状況です。特に物価高は地価の上昇と相まって都市部で物件価格が高騰し、国民の不動産取得意欲に影響を及ぼしております。

このようななか、本会では各種税制要望を行い、子育て世帯・若年夫婦に配慮した住宅ローン減税維持、並びに新築固定資産税減額措置、固定資産税の負担調整措置等が延長されました。

また、昨年12月には改正空家特措法が施行され、空家等活用促進区域、財産管理人制度、支援法人制度がスタートしました。

我々宅建協会組織は、地域の空き家の担い手として国、自治体に期待されており、本会でも利活用を促進すべく、人材育成はじめ適切に対応していく所存です。

一方政府のデジタル化の波は一昨年の電子契約の解禁に続き、宅建免許オンライン申請、不動産IDの実証実験等各種施策が推進されております。

本会でもハトサポBBの機能改善、Web入会システムの整備や宅建士Web法定講習での顔写真データのオンライン受付等、利便性の観点から推進していく所存です。

一昨年来、本会ではハトマークのブランディングについて検討し、昨年「新ハトマークロゴ」を策定しました。1967年の誕生以来、50余年にわたり不動産業界の発展に寄与してきた私たちハトマークグループの理念をブランドストーリーとしてまとめ、「人と住まいを、笑顔でつなぐ。」というタグラインを設定しました。

皆様におかれましては引き続き地域に寄り添い、人と住まいをつなぎ、みんなを笑顔にされるとともに、2024年が良い年となることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会

会長 **坂本 久**